

日本赤十字九州国際看護大学

デジタルトランスフォーメーション（DX）推進計画

I. 推進の意義

少子高齢化、グローバル化が進む中、未来社会は Society5.0、すなわち、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）として示されている。Society 5.0 を実現するためには、その原動力としてのデジタル技術の先進化と社会適応は急務とされる。

新型コロナウイルス感染症の拡大は、これまでの生活を一変させた。感染対策のための新しい生活様式は（ニューノーマル）、人と人との交流のみならず、情報や物流など、社会の多様なシステムのあり様に大きな影響をもたらした。政府は、この事態を教訓としつつ、「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」（2020年12月25日閣議決定）を示し、目指すべきデジタル社会のビジョンとして「デジタルの活用により、一人一人のニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会～誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化～」を提示した。デジタル技術の活用・進化のみならず、人々の生活や生き方を重視し、制度や組織の在り方等を含めて人を中心とした社会をめざしてデジタルを活用するデジタルトランスフォーメーション（DX）がニューノーマルの原動力として重要視される。

本学は単科の看護大学であるが、日本赤十字学園の6つの看護大学7つの看護学部との組織連携を結び、教育・研究・社会的活動について有機的に連携・協働をすすめている。

日本赤十字、国際赤十字のネットワークに基づき幅広くグローバルな学修活動ならびに人間形成をすすめている。大学間連携、赤十字のネットワークの構築のために、これまでも学修環境を整えるために、ICT（information and communication technology）を活用した教育を重視してきた。加えて、本学では、大学教育再生加速プログラム（卒業時における質保証の取組の強化）に採択され、成績評価と学生による自己評価を多元的に掌握できるポータルシステムの導入に取り組んできた（文部科学省による評価は最高レベルS評価を受けている）。

新型コロナウイルス感染症対策のために、本学では、オンライン学修、オンラン会議等教育・管理に関するデジタル化をすすめた。一方で、その根幹をなす、学内基幹ネットワークについては、開学時敷設からの更新が進んでおらず、進化が早い先進的な最新デジタル技術を有効に活用できるシステムの構築検討にあたり通信回線と通信機器が課題となっている。また、本学がめざしている地域連携や産官学連携推進についても、デジタルトランスフォーメーションの推進が不可欠である。

そこで、今回、DX を組織的・効率的に実施することを目的とした本学の全学的な取り組みとして本推進計画を策定した。

なお、本学では、デジタルトランスフォーメーションについて、下記のように捉える。「デジタルトランスフォーメーション (DX) とは、ICT の浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させることを指す。デジタルトランスフォーメーションが進展することによって、特定の分野、組織内に閉じて部分的に最適化されていたシステムや制度等が社会全体にとって最適なものへと変貌すると予想される。よって、デジタル技術を活用した新たな教育方法の開発、学生の多様な学修ニーズへの対応、一貫した学生支援など、大学におけるデジタルを活用した教育の高度化の推進を目指す。」

Ⅱ. 本推進計画の対象期間・実施体制・実施方針

1. 計画期間

本計画は 2021 年 4 月から 2026 年 3 月までを対象期間とする。

本計画は、国や赤十字学園の方針や動向を適宜反映させ評価・見直しを行う。

2. 実施体制

DX 推進が本学の教育・研究・社会的活動基盤をなす重要事項であると位置づけ、経営会議のもと ICT 推進会議が DX を積極的に推進する。

3. 本計画の実施方針

ICT 推進会議において DX 推進事業の方針を検討し、効率的に事業を実施する。

本計画で推進する事業を以下に示す。また、各事業の詳細計画は別途定める。

計画の実施にあたり、①デジタル化に適応した教育手法の具体化、②安全性（情報セキュリティ）の確保、③財政基盤の強化、に取り組み、高度な教育・研究の実践と成果の実現化を図る。

1) 教育・学習環境充実に向けた推進事業

(1) 学内基幹ネットワークの拡張・強化

本学が DX 計画を推進するうえで、これから突入する Society 5.0 時代を見据えた学内基幹ネットワークの拡張・強化が喫緊の課題がといえる。また、授業や教材のデジタル化を想定した総合的なシステムの更新を検討する。

①学内 LAN への影響を及ぼさないネットワーク回線に拡張し、回線を強化する。

②学修環境の向上：講義室における教育環境システムの改良

③電子テキストの導入

④教職員への教育

⑤情報セキュリティの確保

⑥財政計画の策定

2) 業務改善のための推進事業

(1) 学内基盤ネットワークの拡張・強化

(2) 情報機器の計画的整備

今後さらに業務のデジタル化が推進される中で、日進月歩で進化する ICT に適応するためにも、計画的な ICT 教育に特化した携帯性にも優れた高性能な情報機器の設備更新が求められる。

(3) ファイルサーバーへのアクセス範囲の拡張

コロナ禍の在宅勤務や、実習施設からのアクセスにより業務の効率化を推進する。

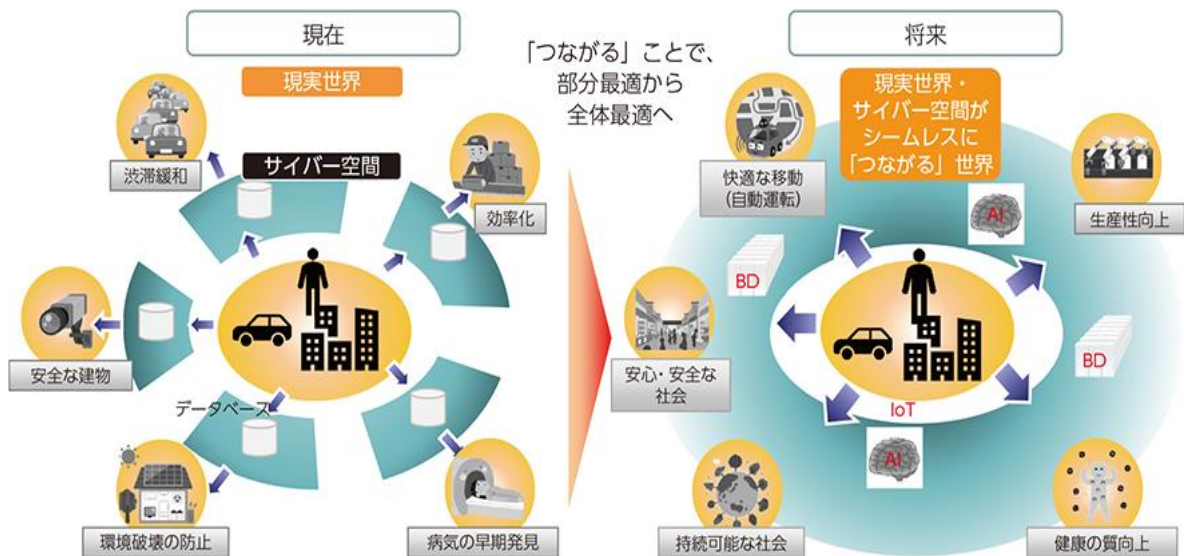
(4) データ管理

教学マネジメント指針に示された教学マネジメントの確立に向けた取組を安定的・継続的に行う観点から、IR の充実・強化を推進する。

以上

参考資料

* デジタルトランスフォーメーション (DX)



出所: 総務省 | 平成 30 年版 情報通信白書 | デジタルトランスフォーメーション ([soumu.go.jp](https://www.soumu.go.jp))

参考動画: https://www.youtube.com/watch?v=GqoyKHWKZ_s

**** Society 5.0 とは**

サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）。狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）に続く、新たな社会を指すもので、[第5期科学技術基本計画](#)において我が国が目指すべき未来社会の姿として初めて提唱された。



出所：[Society 5.0 - 科学技術政策 - 内閣府 \(cao.go.jp\)](https://cao.go.jp/)

参考動画：【イメージムービー】Connect future ～5G でつながる世界～（3分 ver）

<https://www.youtube.com/watch?v=ArRWXopUHAQ&t=96s>